

「芸術の秋」一色

神戸ビエンナーレ2011

オブジェや陶芸、生け花

みみより情報



コンテナ風の部屋の中の幻想的な作品

2年に1度開かれる総合芸術祭「神戸ビエンナーレ2011」が神戸市中央区の神戸港周辺で開かれている。神戸ハーバーランドなど4会場は「芸術の秋」一色に染まっている。11月23日まで。

「ビエンナーレ」は

イタリア語で「2年に1度」の意味。神戸では07年に始まり今回で3回目。展示されている作品は、オブジェや空間作品から陶芸や生

け花までさまざま。神戸ハーバーランド会場では、船舶用コンテナと同じ大きさ（幅2・4メートル、高さ2・5

メートル、奥行き12メートル）の部屋の中にそれぞれの作家の個性が表れた25点

を展示。壁に写真を張り巡らせたものや、白い板を積み重ねた地層を

来月23日まで 神戸港周辺 4会場



表現したものなど独特な作品が並ぶ。

プレゼント

「神戸ビエンナーレ」のチケットを2人1組6人にプレゼントします。はがきに「神戸ビエンナーレ」の招待券

住所、氏名、電話番号を記入して、〒650-0023 神戸市中央区栄町通4の3の5、毎日新聞神戸支局

みみより情報係へ。28日必着。応募者多数の場合は抽選します。

元町高架下商店街では空き店舗内を光や石で飾った空間作品が目立つ。ポートアイランドのしおさい公園では、神戸ポートタワーを模したオブジェなどが立ち並ぶ。それぞれの会場を結ぶバスや船なども出ている。

入場料は大人1200円。大学生と65歳以上は500円。高校生以下無料。問い合わせは神戸ビエンナーレ組織委員会事務局（078・322・6490）。



神戸市と姉妹都市の中国・天津の作家の作品も東日本大震災の被災地の写真も展示

希望と書き、郵便番号、